

なるほど！1.5世帯住宅。

取材・文／はらみづほ 写真／蘿野孝行



Vol.13
ECOさんか
帰る場所

HOME GROUND of
ECO-LIFE



S家のみなさん
室内には、木彫りの鳥や切り絵など、80歳過ぎのご両親のお手製ARTがいっぱい。

家族円満のヒケツ。

「2世帯住宅を建てても親が歳をとると結局一緒に生活になる、というケースも多い」と聞いて、ウチは1.5世帯住宅にしたんです」とおっしゃるSさんは、義理のご両親と暮らすお嫁さん。だんな様はただいま単身赴任中ですが、「頼りになるいいお嫁さんなの」とお姑さんもニッコリ。「一応小さなキッチンが2階もありますが、メインで使っているのは1階のキッチン。生活リズムに自然な時間差があるので、ムリなく共

有しています」とSさん。「大きなキッチンじゃないけど、2人で立ってもぶつからないし使いやすいの。仲良くやってますよ」とお姑さん。お風呂も居間も1階のものを共有しているので、全てが2倍の2世帯住宅に比べ経費はグッと少なく、「でも一人専用の空間もあるから精神的にラクなんです」とのこと。

他にも、お風呂の温排水を使う融雪槽、ガスで自家発電するエコウイルシステム、和室の畳下に広がる換気バッчкиの床下収納、玄関直結の物置スペース、作業もできる玄関タタキ……と、“使えるART”

とも言える賢い斬新ワザが各所にテンコ盛り。工夫次第で家には無限大の可能性が生まれるんだなあと、目が開かれる想いがしました。

ホドホドはイキイキの素。

「不便じゃなければいいし、寒くなければいい。余計なことをしない自然な家を建てたくて、知人の紹介で西條さんにお願いしました。床材は室内の熱を蓄える性質を持つ水槽の無垢材だから、



畳の下には、断熱も換気もバッickeyの広い床下収納が。

2人並んで作業できる、シンプル設計の仲良しキッチン。

ドアのガラスは、実家で使っていた古ガラスの再利用。
玄関・タタキ・物置がつながっていて、雨や雪でもあったか便利。

住宅街なのに山小屋感あふれる、道南の杉板の外壁と大きな窓。

円満同居を目指すなら…

最近増えて来た、2世帯～3世帯住宅。ライフスタイルが違えば10人10色の家になりますが、心地よい同居の実現には、お孫さんや子どもたちの健康を脅かす化学物質を使わない素材選びも、欠かせないポイントだと思います。安全な建材や内装材についてのお問合せも、お気軽にどうぞ。



エコデザイナー
西條 正幸

Bio+
ビオプラス西條デザイン

◎企画・設計 有限会社 ビオプラス西條デザイン
本社:〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1
Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581

この記事の続きは、HPでお楽しみください。
<http://www.saijo-d.com>